

恵庭市長 原 田 裕 様

未 来 提 言 書

年々、人口が増加傾向にあり、今後さらなる発展の可能性を秘めた私たちの恵庭市が、そこに住む全ての市民の幸せな生活の拠点となっていくためには、特に経済の発展が求められるところですが、その際、経済対策を単体の取組とするのではなく、福祉や労働、教育などのかかわりを生み出しながら、相互に補完することのできる総合的な対策が必要です。また、そうした取組を進めることで、多くの市民の参加による持続的な地域の発展が可能となります。

市長には、先日の「子ども未来議会一般質問」において「多文化共生のまちづくり」や「恵庭市介護支援ボランティアポイント事業」などについて丁寧な答弁をいただきました。そうした恵庭市のまちづくりの方向性を踏まえつつ、今後未来に向けて、恵庭市が市民とともに総合的に発展していくために有効となる、「コミュニティパーク（仮称）」構想について、次のとおり提言いたします。

記

市民の手により運営される「コミュニティパーク（仮称）」構想

多くの世代がまちづくりに参画し、互いに関わり合うことで地域を活性化することができるよう、経済、福祉、労働、教育等の中枢となる「コミュニティパーク（仮称）」を新設すること。

その際、

- 一、市民のボランティア等による運営を基本とするなど、様々な世代が関わることができるよう配慮すること。
- 一、独自の仮想通貨を設け、ボランティア等の運営に携わることで貯まったポイントを敷地内はもとより広く市内で使用できるようにすること。

- 一. 子育て世代の利用者が利用しやすいよう、高齢者が幼児等の面倒をみる仕組みを導入するなど、保育施設の役割を兼ねること。
- 一. 図書館機能を取り入れ、学習スペースを設けるとともに、ボランティアとして教員志望の学生による学習支援を行い、小・中学生の学びの場として定着させること。
- 一. コロナ禍における道内外の企業のテレワークに対するニーズに応え、企業間の情報交流や新たなビジネスが生まれるよう、シェアオフィスを集中的に設置すること。
- 一. 市内循環バス「Ecoバス」との接続を図り、市民が公共交通機関を利用して気軽に足を運べるように配慮すること。
- 一. 海外からの技能実習生の居住スペースを確保するとともに、外国人に対する日本語講座を充実させること。また、市内に複数の言語による看板等を設置するなどして異国での生活の不安を軽減すること。

以上

令和2年12月17日

恵庭子ども未来議会議員
恵明中学校 奥村 苺花
恵明中学校 伊藤 颯菜
恵明中学校 大月 太陽

未来提言書

豊かな自然や恵まれた交通アクセスなどを持ち合わせる恵庭市は、これらの貴重な資源を有効に生かしたまちづくりをしていく必要があると考えます。また、図書・花に力を入れ魅力ある町づくりを進める中で、人口が7万人を突破し、さらなる発展が期待されています。

そこで、現代の社会全体で少子高齢化が進んでいく中で、いろいろな人が集うまちとして、活気のあふれるまちを作っていくことに力を入れていくべきではないかと考え、子ども未来議会では、恵庭市の魅力をさらに高め、市民と観光客が集うことができるまちづくりにつながるよう、以下の提言を行います。

1. 市民が集うまちづくりについて

恵庭市の人口は年々増加しています。その中で、恵庭市に住んでいる人が心地よく、安心して住み続けることのできる環境づくりが必要になると考えます。今の恵庭市には出産のできる病院がないので、今後恵庭で安心して出産や子育てができる環境の整備を求めます。また、中高生が体を動かしたり、自習をしたりできる場所が数少なく、市外に出でいかないといけない現状もあります。恵み野駅前の空き施設を整備・開放するなど、駅に近く、行きやすい場所に、市民が交流できる施設が整備されることを望みます。また、恵庭の広大な土地、きれいな水を利用し、農業を活発化させるよう、小中学生に農業体験などを行い、未来の農家を育て、えびすかぼちゃに続く農産品ができ、恵庭に住む人々が恵庭に住んでいることを誇れるようになってほしいと思います。

2. 観光客が集うまちづくりについて

豊かな自然を活かした、グランピングやオートキャンプができるようなキャンプ場ができ、地方から多くの人を訪れるような魅力を再発見してほしいです。観光客や市民がくつろげるような施設が新たにできることを望みます。

また、恵庭の企業や大学・高校とコラボレーションし、恵庭ならではのご当地グルメを開発し、恵庭市の新しい魅力を発信して欲しいです。より多くの人に、恵庭市のすばらしさを知ってもらい、たくさんの方が訪れ、さらに活気のある恵庭市になることを望みます。

令和2年12月17日
恵庭子ども未来議会議員
柏陽中学校 齊藤利久也
柏陽中学校 入来院帆南
柏陽中学校 茶園 奏子

恵庭市長 原田 裕 様

未 来 提 言 書

前回の一般質問では「住みよい街づくり」という大項目のもと、(1)恵庭市のバリアフリー化、(2)駅前の商業施設、(3)恵庭市のPR戦略と、大きく3点について質問させていただきました。恵庭市のバリアフリー化については、平成21年に策定した恵庭市バリアフリー基本構想の進捗状況が現在約7割程度であることから、「引き続き障がいの有無、年齢等にかかわらず多様な人々が利用しやすいまちづくりを目指してまいります」との答弁をいただきました。駅前の商業施設については、商業施設の土地や建物が民間企業の所有であることから、「引き続き、恵み野のまちに調和した、市民に親しまれる施設が来てもらえるように働きかけを行っていきます」との答弁をいただきました。恵庭市のPR戦略については、本年11月11日にオープンした「花の拠点・はなふる」をメイン会場として、「令和4年度に『全国都市緑化北海道フェア』を開催し、これまで市民の皆様が作り上げてきた『花のまち』をさらに全国にPRし、多くの方々に立ち寄っていただけるよう、恵庭のPRに努め、来てみたい、住んでみたい、そして住み続けたいまちを目指してまいります」との答弁をいただきました。このことから私たちは以下の3点について提言します。

- 1 誰もが安心して暮らせるまち「えにわ」～障がい者や高齢者をはじめ、すべての人が不安なく生活できるまち、商業施設や福祉施設などが充実した暮らしやすいまちを目指します。
- 2 人が集まる花のまち「えにわ」～「道と川の駅・花ロードえにわ」「花の拠点・はなふる」を重点にPR戦略を展開し、人の集まるまちを目指します。

- 3 一人ひとりが主役のまち「えにわ」～わたしたちのふるさと「えにわ」を、より「来てみたいまち・暮らしやすいまち・住み続けたいまち」にするよう市民一人ひとりが主役となって考え、意見を発信していくまちを目指します。

令和2年12月17日

恵庭子ども未来議会議員

恵北中学校 吉田 時也

恵北中学校 堀 周平

恵北中学校 越川 直幸

恵庭市長 原田 裕 様

未 来 提 言 書

今回の子ども未来議会に向けて、本校では恵庭市にのぞむことの内容でアンケートを実施し、それらをふまえ郷土資料館の見学などの恵庭市について調べました。そのうえで子ども議会第二回定例会において質問をさせていただきましたところ、恵庭市の未来について様々な答弁をいただきました。そこで、恵庭市のまちづくりについて下記の通り要望いたします。

- 1 恵み野駅前の施設跡地を公園、図書、飲食、買い物等、様々な目的に利用可能な複合施設をつくり、中学生や高校生をはじめとした様々な世代の積極的な交流を行い、恵み野地区の活性化をはかること。
- 2 恵庭まちじゅう図書館やブックスタート・図書に関わる講演会など、既存の取り組みをより多くの人に浸透させるだけでなく、図書のデジタル化やより複合的な図書イベントを企画し、幅広い年代の人にさらに親しんでもらえるような取り組みを行っていくこと。
- 3 郷土資料館を中心として、恵庭の貴重な史跡である「カリンバ遺跡」など、恵庭の歴史をもっと多くの人に知ってもらえるような取り組みを行い、これからの恵庭市の発展について取り組みを行っていくこと。

令和2年12月17日

恵庭子ども未来議会議員
恵み野中学校 相良 優和
恵み野中学校 舛井 彩花
恵み野中学校 萩原 大翔

恵庭市長 原田 裕 様

未 来 提 言 書

日本では現在、少子高齢化が深刻な問題になっています。ここ恵庭市では、高齢者福祉は非常に充実していると感じます。一方で若者世代の居場所が少ないように感じます。将来的に恵庭市を発展させるためには若者にとって魅力あふれる街にしていくことが大切だと考えます。そこで、恵庭中学校からは全校生徒対象に行ったアンケートの結果を踏まえ、若者世代、特に中学生の居場所づくりというテーマで提言を行います。

第 2 回の一般質問を終えて、全校生徒を対象に次のようなアンケートを実施しました。

1. 「かしわの森」の利用状況や利用目的について
2. 屋内外でスポーツをするにあたって整えてほしい設備について
3. 中学生が公園を利用するにあたって、あったらいいなと思うものについて

中学生の「かしわの森」の利用目的については、勉強や卓球などのスポーツをしに行くという回答がありました。本が読めることや乳幼児から大人まで幅広い年代の人たちが利用できるという良さがある一方で、「利用していない」という回答が多数を占めました。その理由としては、スマートホンの使用禁止をはじめとする規制の厳しさや、小学生が多く勉強に集中できないなどが挙げられました。

これらの意見を受けて、「かしわの森」では、スマートホンを使用できるスペースを確保したり、小・中学生のスペースを分けて静かに集中して勉強できる場所を作ったりするなどの工夫を行えば、中学生にとっても居やすい場所になるのではないかと考えました。

次に、屋内外でスポーツをするために整えてほしい設備と公園利用については、バスケットコートなどのスポーツができるコートの設置、アスレチック、ロ

ッククライミング、トランポリンなどを設置してほしいとの意見が多くありました。子どもの安全面をどうするかという課題はありますが、実際に札幌市内や道内の公園には先に上げたような遊具が設置されているところもあります。市内のいくつかの公園に大規模な遊具やスポーツができる場所を設置すれば、思い切り体を動かし、他の人とコミュニケーションをとることが出来る場になると考えました。

最後に公園 WIFI についてです。技術的な課題、費用面の課題など乗り越えるべきことがたくさんありますが、すでにヨーロッパなどの海外では、大規模な公園には WIFI が設置されているそうです。日本でもコロナ禍で都会の人込みを避け、自然の中で仕事をするを促すために公園に WIFI 設備を整えるための補助金が出るという話もあります。恵庭市として他地域よりも先駆けてこのような取り組みができれば素晴らしいと思います。市内の1, 2カ所の公園に設置すれば人が集まるスポットになるのではないのでしょうか。

恵庭市をこれから先、何年も継続的に発展させていくには、今の私たちのような若い世代が、親の世代になったときに、恵庭市で子どもを育てたいと思える環境が整っているかどうかを重要だと考えます。

以上

令和2年12月17日

恵庭子ども未来議会議員
恵庭中学校 石尾 志津真
恵庭中学校 三浦 ひなた
恵庭中学校 廣島 未羽